

《住民参加の減量化・資源化計画》次期ごみ処理施設に役立てる

商工会とのごみ減量化懇談会

去る9月16日塩谷広域行政組合ごみ処理検討委員会では、次期ごみ処理施設にも役立てていくため、塩谷広域行政組合管内の各商工会推薦メンバー20名及び商工会事務局長をオブザーバーとした商工会代表者により、ごみの減量化方策等について話し合われました。



▲商工会とのごみ減量化懇談会

ごみ減量化懇談会のテーマ

- ・「1事業所、1従事者、1日10gのごみ減量を」を、キャッチフレーズにごみ減量のPRと実践について
- ・生ごみ堆肥化の推進について
- ・「レジ袋何度も使ってリサイクル」を、キャッチフレーズに発泡トレイの自主回収について



塩谷町たておか商店
店主 立岡 芳司さん

この度、ごみ減量化懇談会に参加して、私たちは、ごみ処理事業を行政に頼りすぎ、「より減量」・「分別の徹底による資源化」が、いかに重要であるかあらためて痛感いたしました。私たちの出来る小さなことから焼却ごみの減量に協力しようではありませんか。「ママはマイバッグを持って少なめの買い物」・「パパは酒びん、ビールびんを販売店に戻す」・「お父さんは生ごみ堆肥の工夫」・「お母さんは残飯などの水切り」・「お兄さんはペットボトルを分別」・「お姉さんは古新聞雑誌などの再資源」家族みんなでごみ減量に取り組みましょう。また、私たち事業所もごみ問題の意識高揚を図り、資源の効率的利用・再資源化をもう一度検討していきましょう。

「ニュースレター」及び「ごみ処理行政」に対するご意見・ご提案をお気軽にお寄せください。また、塩谷広域行政組合のホームページも開設しております。

※ホームページアドレス <http://www.shioyakouiki.or.jp/>

問い合わせ先

〒329-1572 栃木県矢板市安沢3622番地1

塩谷広域行政組合 次期ごみ処理整備担当 鈴木・印南

TEL0287-48-2760 FAX0287-48-0463